

## 子ども理解

田丸 あけみ

年長児の子ども達がアトムで生活するのも、あと2か月となりました。

思う存分遊び、泣き笑いしながら心も体も逞しくなったみかん組の子ども達の姿を見ながら、嬉しくもあり、寂しくも感じる今日この頃です。小学校へ入学する保護者の方は、成長した喜びも大きくありつつ特に初めて入学される方の中には不安を感じている方もおられると思います。それは、子ども達も同じで、4月から、環境が大きく変化し、友達との関係も広がっていきます。

そんな新一年生になる子ども達が安心して学校生活をスタートするために、引継ぎ資料を毎年作成しています。

その資料を持って、3月末に担任が各小学校へ出向き、子ども一人一人の気にして見てあげてほしい所や自分の言葉で表現しにくい部分でフォローをしてあげてほしい所などを先生へ丁寧に引き継ぎます。

引き継ぎ資料は、子どもの“良い所・悪い所”というような評価をするものではなく、子どもが困るであろう場面で助けてあげてほしい所や、配慮してあげてほしい所のみを絞り作成しています。

2月のみかん組懇談会では、担任があらかじめ作成した引き継ぎ資料を保護者に見て頂き、保護者と担任間で保育園での子どもの姿と、家庭での姿をすり合わせながら、話し合いを深め一緒に完成させます。

又、懇談会の中で他の子どもの個性も知り、卒園しても子育て仲間として、共に歩み、子育てをしんどく感じた時、他人の出番として手を差しのべることが出来る関係になってほしいと願っています。その積み重ねが0歳児から行っている懇談会だったり、アトムっ子（冊子）だったり、日頃のやりとりなのです。

我が子理解、他の子理解を幼少期の頃から掘っておく事は、思春期・青年期を迎える上でもとても重要な事だと考えています。成長する過程で人は、色々な人と出会いながら、人間形成をしています。その子が持っている本質的なところは変わらず持ち続けていくと思うのです。

保護者同士、我が子理解だけでなく、他の子の理解も深め、卒園してからも、一緒に子育てができ、温かい眼差しで子ども達を見守っていける大人でありたい、あってほしいと願っています。

1月29日（日）アトムにて「第32回 くまとり子育てと保育を考える集い」を“探し物は何ですか？”というテーマで開催しました。遠く鹿児島や東大阪、和歌山からや、アトムOG保護者や卒園児、アトム・つばさの現役保護者で50人ほどの参加がありました。分科会のひとつに「大人・親の探し物」があり、「1月号のアトムっ子に載っていた保護者会の榊井さんの文章を読んで参加しました」という方が2名いました。（詳しくは、前月のアトムっ子をご覧ください）最後の報告会で保護者の方に「是非、参加しての感想を！」とお願いしたところ、少し躊躇しながらも快く引き受けて頂きました。榊井さんの当日の感想も含め、次のページに載せていますのでご覧ください。